



わたなべ ひゅうが
渡邊 陽向くん
8か月・所野



たかはし ひかる
高橋 輝くん
9か月・明神



あくつ あかね
阿久津 灯音ちゃん
1歳・瀬尾



ほしの しあん
星野 紫音ちゃん
5か月・瀬尾

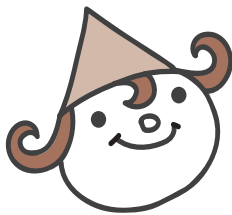


ほしの ゆあん
星野 結安くん
2歳・瀬尾

みんなのひろば



お子さんの写真を募集します
写真の裏にお子さんの名前(ふりがな)・
生年月日・性別・住所・保護者名・電話
番号を明記の上、応募してください。
送り先 〒321-1292 日光市今市本
町1番地 日光市役所企画部秘書広
報課 広報広聴係



今月のすまいるさん

足尾を離れて40年。退職して足尾に帰り、ふと気付くと故郷について何も知らない自分がいきました。無性に足尾のことを勉強したくなり、公民館で行われていた歴史セミナーに参加しました。セミナーで学ぶうちに参加者同士のつながりもでき、足尾に対する思いが一層強



ガソリンカーを走らせるための資材も着実に集まっています。

※ガソリンカー...ガソリンを燃料として走る鉄道車両。
集まり始めた材料を前にしてうれしそうに語る長井さんでした。

今月のすまいるさんは

足尾の文化や産業遺産を保存・継承する活動をしている、足尾町松原にお住まいの

ながい かずお
長井 一雄 さん

足尾歴史館の理事長、長井一雄さんを紹介します。足尾歴史館は、平成17年4月にオープン。長井さんは館の設立のために中心となって活躍しました。「足尾歴史館は、多くの方々に足尾をより深く知っていただくための施設です。ここには、江戸時代から昭和まで日本を支え続けてきた町の、移りゆく姿を伝える写真や貴重な資料が展示されています。足尾銅山の真の姿を、いろいろな角度から再発見してください」と話す長井さん。設立のきっかけを聞きました。「足尾高校を卒業し、足尾を離れて40年。退職して足尾に帰り、ふと気付くと故郷について何も知らない自分がいきました。無性に足尾のことを勉強したくなり、公民館で行われていた歴史セミナーに参加しました。セミナーで学ぶうちに参加者同士のつながりもでき、足尾に対する思いが一層強



くなりました。セミナー修了後、参加者で足尾のガイドブックの作成やガイドの養成をするうちに、現存する珍しい道具などを展示・解説できる場所がほしくなり、閉鎖されていたスケートセンターを借りてオープンしました。これからの目標は「銅山で使われていた当時のガソリンカーを走らせることです。以前のスケート場に砂利を敷き線路を敷設して走らせたいと考えています。今は部品や材料をあちこちから集めているところです。何とか平成20年には発車したいですね」